

メニューをまとめたレシピ本「薬局の管理栄養士が考えた健康ごはんPart2」を発売した。首都圏の主要書店と薬樹全店舗で販売される。



薬樹 小森雄太 社長

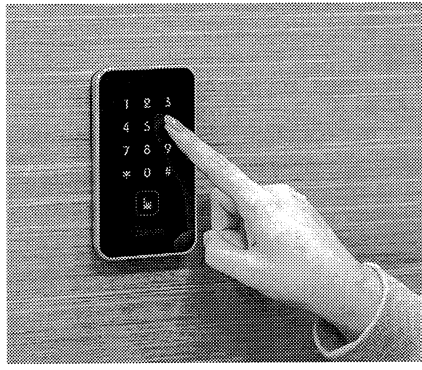
薬樹では2009年に管理栄養士が常勤する「健ナビ薬局」をオープンし、店舗を訪れた人

への栄養指導、さらには在宅療養者に対しては訪問栄養指導を行い、食事・栄養面から患者に貢献することに力を入れてきた。

2013年には、健康相談から生まれた薬樹の管理栄養士考案の食事メニューをまとめたレ

# 鍵かけ忘れの不安解消

## 電子錠で安全性向上



▶オートロック電子錠で鍵のかけ忘れを防止

電子錠メーカーのセリユール(東京都中央区)は高齢者でも取り扱いやすいオートロック電子錠を開発・販売している。鍵のかけ忘れや鍵を失くす心配を無くし、安全性を向上させるものとしてシニア市場での普及を目指す。

外出時は自動で施錠し、帰宅時は「スマートキー」を服のポケットや鞆の中に入れた状態で



▲スマートキーで簡単に解錠できる

まで最も相談が多かったメタボリックシンドロームの悩みを解決するため、低エネルギーかつ低塩分で血圧、血糖値、コレステロール、中性脂肪が気になる人向けのレシピ58品を掲載し、相談の経験からどのような食生活が内臓脂肪を増やすのか、食事記録の実例も解説付きで紹介した。500キロカロリー前後の家庭料理を簡単に作ることができ、味も良いことから好評を

得て増刷を重ねてきた。

今回発売した「薬局の管理栄養士が考えた健康ごはんPart2」ではメタボリックシンドロームを改善する健康ごはんの最新版に加え、在宅栄養指導の実践から考案した「やわらかアレンジレシピ」を掲載。これは、家族で食卓を囲み、同じ味を楽しんでもらいたいという思いから考案した、健康ごはんを簡単にアレンジし、3段階のやわら

かさに調整する薬樹のオリジナルレシピだ。

薬樹では管理栄養士の専門的知識と、健康相談を実践する中で得たノウハウを活用し、近年はグループホームなどに食事メニューを提供してきた。今回発売したレシピ本は、健康に配慮した食事のやわらかさの調整方法を紹介しているため、高齢者を家族に持つ家庭でも有効活用できる。

侵入窃盗の認知件数は約5万1000件ののぼり、侵入の方法は無施錠のドアからの侵入が約45%と最も多い。鍵のかけ忘れを防止することが最低限の対策方法と言える。

高齢者は鍵のかけ忘れで不安を抱きやすいともされ、オートロックを活用することの利点は大きい。セリユール製品は電池で作動するので配線工事が不要。引き戸以外のドアであれば材質を問わず室外機・室内機のセットを約1時間で取り付けら

れる。

取り付け費用、消費税込みで7~10万円で設置でき、近年は販売台数約2万台を記録した。韓国ではオートロック電子錠が9割まで普及しているとされ、日本においても医療機関や高齢者施設での導入も進み始めている。今後は高齢者施設のほか、高齢者や小さな子供が暮らす個人宅へのアプローチも強化し、要望が多く出ている引き戸に対応したオートロック電子錠の開発にも力を入れていく。



日本経済新聞 読者動向調査 健康増進 高齢者向け 食生活改善 多数!

▲高齢者が考える健康な食生活

### 商品・カタログ

睡眠が... 日本が... 狂言を... 多いと... 2度は... が、一... て観... はよ... 前にお... 歯... 前にお... 歯... 前にお... 歯... 前にお... 歯...